



吹奏楽WEBレッスン会員とは？

- ・Shionによる全日本吹奏楽コンクール課題曲のパート別動画レッスンをすることができます。(※一部無料公開中！)
- ・吹奏楽SNSでShionメンバーと直接繋がって、直接、質問ができる。演奏のアドバイスがもらえます。
- ・吹奏楽SNSで全国の吹奏楽プレーヤーと繋がって、情報交換ができる。吹奏楽仲間を作れます。
- ・吹奏楽WEBレッスン会員向け、メールマガジンを発行。
- ・Shion検定が受験できます。

2017年 5月～6月の主な催し

5月1日(月)	18:00開場 19:00開演	[芸術文化振興基金助成事業] 第117回定期演奏会 指揮・作曲/ジェイムズ・バーンズ	ロームシアター京都 メインホール (地下鉄東西線「東山」駅 下車徒歩5分)	入場料(全席指定) S席5,000円 A席4,000円 B席完売 ペア席7,000円 学生割 (S/A/Bより1,000円引) Shionチケットセンター TEL.0800-919-5508
5月5日 (金・祝)	11:00受付 12:00パート練習 13:00合奏練習 17:15演奏会形式発表会 17:55GO!GO!コンサート 出演者と合同合奏	[大阪市芸術活動支援事業] オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ プレゼンツ 月イチ吹奏楽 〈特別回〉 指揮/三宅孝典 (月イチ吹奏楽) 宮川彬良 (GO!GO!コンサート)	シオンなぎさのホール (南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅 下車徒歩5分) 他	参加費4,000円(見学無料) 要事前申し込み Shionチケットセンター TEL.0800-919-5508 (日祝を除く10:00～17:30)
5月11日(木)	18:30開場 19:30開演	青春の吹奏楽 part IV 指揮/岩村 力	いずみホール (JR環状線「大阪城公園」駅 下車徒歩5分)	入場料(全席指定) 一般4,000円 学生2,000円 Shionチケットセンター TEL.0800-919-5508 (日祝を除く10:00～17:30)
5月17日(水)	《2回公演》 【昼の部】14:00開演 【夜の部】19:00開演 開場は各回30分前	ワンダフルコンサート ～薫る笛の音～ 出演/Shionフルート三重奏 [後援：大阪市教育委員会]	シオンなぎさのホール (南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅 下車徒歩5分)	入場料1,000円 (各回) Shionチケットセンター TEL.0800-919-5508 (日祝を除く10:00～17:30)
5月21日(日)	13:30開場 14:00開演	吹奏楽meets JAZZ 指揮/西村 友 トロンボーン独奏/中川英二郎	アルカスSASEBO 大ホール (JR「佐世保」駅下車徒歩3分)	入場料S席4,000円 A席3,500円 学生各席1,000円 アルカスSASEBO TEL:0956-42-1111 (第2・4水曜日 休館)
6月18日(日)	12:30受付 14:00パート練習 15:00合奏練習 16:30演奏会形式発表会	[大阪市芸術活動支援事業] オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ プレゼンツ 月イチ吹奏楽 指揮/三宅孝典	シオンなぎさのホール (南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅 下車徒歩5分)	参加費3,000円(見学無料) 要事前申し込み Shionチケットセンター TEL.0800-919-5508 (日祝を除く10:00～17:30)
6月21日(水)	《2回公演》 【昼の部】14:00開演 【夜の部】19:00開演 開場は各回30分前	ワンダフルコンサート ～トリオ・ダンシュの響き～ 出演/Shion木管三重奏 [後援：大阪市教育委員会]	シオンなぎさのホール (南港ポートタウン線 「トレードセンター前」駅 下車徒歩5分)	入場料1,000円 (各回) Shionチケットセンター TEL.0800-919-5508 (日祝を除く10:00～17:30)

///////// <<atogaki (あとがき) >> //////////////////////////////////////

大阪市音楽団友の会の会報紙「市音タイムズ」から引き継いできた本紙「Shioinタイムズ」も4年目に突入し第32号を発行することができました。「読み物として再編したい。」という思いから、少しづつですがShionに関わるすべての方々へいろんなShionの形をお届けしていきたいです。次号(第33号)の発行は7月1日の予定です。

(編集部)

正指揮者に西村友氏が就任

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラは、民営化後4年目となる2017年4月より演奏活動の充実を図るため、オーケストラはもとよりミュージカル、オペラ、バレエ等も多く手がける西村友氏を正指揮者としてお迎えすることとなりましたので、皆様に謹んでご報告申し上げます。
なお正指揮者就任記念定期演奏会として第118回定期演奏会(2017年10月29日、ザ・シンフォニーホール)を開催致します。
今後ともオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラにご支援賜りますようお願い申し上げます。



Shionと見る夢

Shionと初共演してから4年の月日が流れました。それから今日まで、幾度となくステージを重ねました。そのたびに僕は、このオーケストラの持つ底力と奏者の皆さんの高い技術と音楽性に驚き、助けられました。しかし、まだまだ僕はこのオーケストラの本当のチカラの、その一角を垣間見たに過ぎません。それは僕とて同じこと。これからさらにお互いの全力を見せ合い、ぶつけ合わなくてはなりません。
吹奏楽と言う音楽が他の音楽に比べて価値が低いように言われた時代はとうの昔に過ぎ去りました。しかし、まだまだその魅力と可能性を存分に解き放っているとは言い切れません。少しでも、その深淵に迫りたい。僕はこのオーケストラの力を得て、一人一人の奏者の音楽とともに、もっと深いところまで泳ぎ進んでみたいのです。やりたいこと、やってみたいこと。夢も希望も妄想も広がります。このオケの皆さんとなら、聴き慣れた名曲も、最高峰の頂きに挑むような難曲も、きっと聴く人をとらえて離さない名演にたどり着くことが出来る、そう信じて今日も精一杯、全力でタクトを振ります。
どうか、これから生み出されていく名演に、ご期待ください。よろしくお願いいたします。 西村 友

～ 西村友正指揮者就任記念定期演奏会 ～

第118回定期演奏会

2017年10月29日(日)14時開演

ザ・シンフォニーホール

指揮 西村 友

プログラム

華麗なる舞曲 (C.T.スミス：作曲)
ダンス・ムーヴメンツ (P.スパーク：作曲)
交響的舞曲 (S.V.ラフマニノフ：作曲／西村友：編曲)

主催：一般社団法人大阪市音楽団
後援：大阪市教育委員会
助成：芸術文化振興基金助成事業



6月1日(木)
一般発売!

S席:5,000円
A席:4,000円
B席:3,000円
ペア席:7,000円

学生割引
(S・A・B席1,000円引き)

チケットのお申込み
Shionチケットセンター

0800-919-5508

(日祝を除く10:00～17:30)

～新連載企画～ リレーコラム Vol.1

定期演奏会の幕が上がる ～アーカイブ＝1980年代からの市音～

私が大阪市音楽団に入団したのは1983年6月、その年の秋が最初の定期演奏会になりました。指揮者は朝比奈隆、これまで吹奏楽の指揮者といえば学校のクラブで名を馳せた先生、オーケストラの著名な管打楽器奏者、バンドディレクターと呼ばれる方々、とプロのオーケストラとは明らかに違っているというのがそれまでの印象でした。ところがこどもの頃からよく知っていた日本を代表する指揮者がそこにいる、というだけでびっくりもの、打ち上げの席ではオーケストラの中でのユーフォニアムにまつわるお話、つまり『展覧会の絵』や『英雄の生涯』『ドン・キホーテ』等のエピソードからピールのつぎ方まで教わりました。歴史を紐解くと客演指揮者には森正、山田一雄など日本の大御所が名を連ね“私が入団した大阪市音楽団は紛れもなくプロの楽団なんだ!!”とあらためて認識させられた出会いがありました。

次の年1984年の定期演奏会にはアメリカから東京佼成ウインド・オーケストラの常任指揮者として来日中のフレデリック・フェネルが登場、スタイルの異なる3曲の行進曲、パーシー・A.グレインジャーの小品を3曲、オーウェン・リード作曲のメキシコの祭りの他にユーフォニアム奏者ブライアン・ボーマン氏を迎えてボッカラーリ作曲のファンタジア・ディ・コンチェルト、と実に多彩で、どの曲にもフェネルさんのこだわりが凝縮されていて、細かいエッセンスが絶えず注がれ、『メキシコの祭り』では自作のバスドラムの撥を持ってきて“これで打ってほしい”というほどのこだわりようでした。1986年に行われた2回目となるフェネルさんの指揮ではロバート・ラッセル・ベネット作曲の『シンフォニック・ソング』がプログラムにありました。全3楽章のうち1曲目が3／8拍子の基盤に3／4拍子の表情が見えるといういわゆる“ヘミオラ”というリズムとラグタイムの要素を合わせ持った曲ですが、このリズムが切り切れず、いくら事前練習をしてもうまくなりません。さあ、いよいよ市音にフェネルさん登場、この曲のリハーサルを始める前に突然歌い出しました。“ダダダダダー、ドゥダドゥーダードゥー～イッツ アメリカン ミュージック、レッツ ビギン”指揮棒が降られると、それまで全く出来なかったリズムが出来ないほうがおかしいくらい当たり前に出、音楽が生き生きと進みます。こうしてウインドアンサンブルという新たなジャンルを確立したフェネルさんは市音にもそのスタイルを注ぎ込み、今までにない新しい市音のアンサンブルを提示してくれました。

1991年には首席指揮者に金 洪才（キム ホンジェ）が就任、この年の5月31日にザ・シンフォニーホールで開催された委就任披露第62回定期演奏会で行ったクロード・トーマス・スミス作曲の『フェスティヴァル・ヴァリエーション』やストラヴィンスキー作曲の『火の鳥』はそれまでの市音のイメージを覆す端正で透明感のある演奏でこの時代にライブCDが制作されていたら間違いなく名盤となっていたことでしょう。フェネルさんによって目覚めさせられたアンサンブルの構築は金さんによって確実に進歩し、大阪のバンドから日本の楽団へと着実に階段を上り始めたことがはっきりと感じられるようになってきました。また市音内部でも変革の時代を迎え、当時、指揮者としても油の乗ってきた木村吉宏団長によって現在吹奏楽の名曲となっている多くの作品が日本初演され、紹介されました。

個人プレミアム応援団

郵送オプションサービス(有料) 開始のお知らせ
個人プレミアム応援団員様への新オプションとして郵送サービスを開始させていただきました。「Shionタイムズ」をはじめ定期演奏会の先行予約やShionからのお得なお知らせをご自宅までお送りいたします。
詳しくはShion事務局[フリーコール0800-919-5508（日祝を除く10:00～17:30）]までお問い合わせください。

楽団長・ユーフォニアム
三宅 孝典（みやけ たかのり）

徳島県徳島市出身。
東京藝術大学音楽学部器楽科卒業在学中安宅賞受賞。
1983年大阪市音楽団に入団。
日本ユーフォニアム・チューバ協会理事。相愛大学、同志社女子大学、徳島文理大学の各非常勤講師。
2016年11月より生駒ウインドオーケストラ音楽監督。



ヨハン・デメイ作曲の交響曲第1番『指輪物語』や第2番『ビッグ・アップル』、フィリップ・スパーク作曲の『シンフォニエッタ第2番』といった交響曲というジャンルが吹奏楽の世界にも浸透するきっかけをもたらしました。
1995年に首席指揮者に就任したハインツ・フリーセン、ヨーロッパ音楽の本質を教えてくれた指揮者です。登場は5月12日、ザ・シンフォニーホールでの第70回定期演奏会でした。リハーサルが始まり、1曲のリハが終わると出た言葉は“フロム ザ ビギニング”・・・とにかく納得しない音楽は出来るまでとことん追求する姿勢が印象的で、この時演奏された40分近くかかる大曲、サンサーンス作曲の交響曲第3番“オルガン付き”でさえ、通し終えたと思ったらこのセリフが出ます。“もう一度最初から”それでも楽員は嫌がらずついていきました。まさにフリーセンさんの目指すものが本物であるからでしょう。アンサンブルをしようとする楽員個々の音楽性が失われ、音楽は小さくなっていく、そこを壊さずに音楽をまとめていくフリーセンの指揮は楽団の機能と楽員個々の音楽性を最大限にバランスさせて音楽を紡いでいきます。そして1996年6月13日に行われた第72回定期演奏会でのバーンズ作曲『交響曲第3番』の世界初演は1990年代の集大成ともいえる出来事なのかもしれません。1997年には東京公演を行い、またCDの『ニュー・ウインド・レパートリー』の制作開始、と全国に認知される楽団へと向かいます。フェネルさんは“キエテ”を口癖にウインドアンサンブルを通じて吹奏楽の作品の価値を広め、金(キム)さんは適格に指示するテクニックによってより次元の高い演奏を可能にし、フリーセンさんは幅広い音楽表現を楽員に浸透させていきました。

私が入団した時から市音が変わり始めたことは、その前の時代を知らない私にとっては好都合だったのかもしれませんが。しかし1970年代以前の市音を知る必要もあるのでしょうか。かつて天王寺に市音があった頃から在籍しておられた楽員の方がこの3月に退団され、天王寺を知る楽員はもういません。フリーセンさんの口癖であった“フロム・ザ・ビギニング”は今の私には“初心忘るべからず”に聞こえてきます。どの時代の初心に立ち返るのか、それは時として、またケースによって違う時代への回帰になるのでしょうか。

また機会がありましたら21世紀の市音⇒Shionのお話をいたしましょう。



がんばれ！Shion応援団

お友達にシオンの活動をご紹介していただき、応援団員の輪を拡げていただくことが目的に設立された、シオンオフィシャル応援団です。

入団費は、無料でシオンを応援していただける方なら、どなたでも、ご入団いただけます。

ご登録はカンタン！
まずはQRコードでアクセス。



5月17日 水曜日 ワンダフルコンサート ～薫る笛の音～ 出演／Shionフルート三重奏

■2017年度ワンダフル第2弾！

□14:00, 19:00開演 ≪2回公演≫
□シオンなぎさのホール
□1,000円（全席自由・各回）

Shionフルート三重奏による
季節の薫る名曲コンサート。

(フルート) 磯田 純子

出口 かよ子

万谷 正伸

プログラム
小組曲第2番／A.アルビージ
第1楽章 春の歌
第2楽章 鐘
第3楽章 ヴェニスの舟唄
第4楽章 泉

組曲「四季」より／西村友

6月21日 水曜日 ワンダフルコンサート ～トリオ・ダンシュの響き～ 出演／Shion木管三重奏

■2017年度ワンダフル第3弾！

□14:00, 19:00開演 ≪2回公演≫
□シオンなぎさのホール
□1,000円（全席自由・各回）

Shion木管三重奏による

室内楽コンサート。

(オーボエ) 福田 淳 (クラリネット) 青山 知世

(ファゴット) 國府 利支恵

【チケット取り扱い】
Shionチケットセンター
Tel. 0800-919-5508 (日祝を除く10:00～17:30)

Shionメンバーによる「オススの1枚」Vol.1

案内：高畑次郎（テナーサクソフォン奏者）

欲望という名の電車

Shionタイムスをご覧の皆さん、
こんにちは。Shionでテナー・サクソフォンを演奏しています高畑次郎です。大阪市音時代に入団してからこの4月で18年目を迎えました。入団したばかりの頃はプロの楽団はもちろん、大阪での生活も初めてでしたので、いつも新鮮でした。ある日、大阪出身の先輩がボケてるのに気が付かずつまこなかったら、すごく寂しそうな顔をされたことが今でも忘れられません（笑）

オススの（思い出の）CDのご紹介とのことで、数あるシオンのCDから1枚を選ぶのは非常に悩みましたが、その中から【宮川彬良&大阪市音楽団「欲望という名の電車」】を選んでみました。これは2011年の定期演奏会のライブCDで珍しく2枚組となっており、1枚目はアキラさんのトークを交えてアングソンの作品を中心に、2枚目はアキラさんの作編曲の作品が収められています。特にCDタイトルにもなっている「欲望という名の電車」は40分近い大作で、もともと同名の舞台音楽の吹奏楽版初演だったのですが、なかなか中身が濃いです。アキラさんと楽団の熱量がとても感じられる演奏だと思います。当時私はバリトンサクソフォンを担当していて、途中の楽章に長いソロがあるのですが、アキラさんから色々アドバイスを受けられたことが、とてもいい経験になりました。翌年の関東ツアーでも取り上げられ、冷房の壊れた旧練習場で汗だくになって合奏練習したのを覚えています。今のメンバーでも再演したい作品です！ぜひお聴きください！



5月5日 金・祝 Osaka Shion Wind Orchestra presents 月イチ吹奏楽 (特別回)

■ GO!GO!コンサート コラボ企画

会場：シオンなぎさのホール 他

指揮：三宅 孝典（月イチ吹奏楽）、宮川 彬良（GO!GO!コンサート）

【合奏曲目】

五月の風／真島 俊夫

フラッシング・ウインズ／J.ヴァンデルロースト

ジャングル・ファンタジー／岩井直博

※GO!GO!コンサート出演者合同演奏の曲目発表及び楽譜は当日になります。予めご了承ください。

【スケジュール】

11:00 受付開始・練習場解放（音出し・譜読み・個人練習）

12:00 Shionメンバーとのパート練習

13:00 Shionメンバーと一緒に合奏

17:15 演奏会形式で発表会(晴天時：海辺のステージ、雨天時：シオンなぎさのホール)

17:55 GO!GO!コンサート出演者と合同演奏(晴天時：海辺のステージ、雨天時：シオンなぎさのホール)

【参加費】4,000円（見学無料）

6月18日 日曜日 Osaka Shion Wind Orchestra presents 月イチ吹奏楽

■ 楽器を持っている方ならどなたでも大歓迎！

会場：シオンなぎさのホール

指揮：三宅 孝典

【合奏曲目】

美中の美／J.P.スーザ

ジャスパー～夢へのナビゲーター／清水大輔

「アナと雪の女王」シンフォニック・ハイライツ

／C.&R.ロベス／S.ブラ編曲

【スケジュール】

12:30 受付開始・練習場解放（音出し・譜読み・個人練習）

14:00 Shionメンバーとのパート練習

15:00 Shionメンバーと一緒に合奏

16:30 演奏会形式で発表会

【参加費】3,000円（見学無料）

【お申込み・お問合せ】
Shionチケットセンター
Tel. 0800-919-5508 (日祝を除く10:00～17:30)